



行健中学校だより

郡山市立行健中学校

天行は健なり

No.27 2010/11/19 (金)

校長室の窓から 他人を大切にすること 校長 齋藤正徳

本当に寒くなってきました。学校から見える安達太良をはじめとした山々もすっかり冬山の趣です。この寒さのなかの登下校はたいへんなものです。一昔前にくらべ、雪も少なくなったし寒さもそれほどではないといった声も聞かれますが、どうしてどうしてやっぱり寒いですね。

そんな中、本校の生徒は防寒着どころか手袋も着けないで元気に登校している生徒が多いようです。

最近、朝の登校の様子を見ていて心配だなと思っていたら、近所の方からこんな話をいただきました。「自転車通学生の自転車が速くて、歩いていると危険を感じる。」「旧国道から学校に向かう道で、生徒や自転車が道路いっぱいに広がって歩いているので危ない。」「歩道があるのに歩道を歩かない。」等・・・

朝晩の通学時間帯は人通りも多いし通勤時間でもあり、あわただしく走りすぎる自動車の数も多くなっています。

自転車通学者は、一列になり安全を考えながら進んでほしいと思います。また、歩いている人も、周囲の様子に注意を払って、前から来る人や車の道を空けながら、素早く歩いてほしいと思います。特に、スピードの出ている自転車にぶつかれば交通事故です。相手にけがをさせれば、当然そのけがが治るまでその損害を賠償する責任が生じます。(特に、お年寄りや小さい子どもの近くでは十分速度を落として運転する必要があります。)

広がって歩いていることが原因で、他の人の歩行の邪魔になったり、他の人の交通事故につながったりすれば、重い責任を感じることになります。

他人を大切にすることが、自分を大切にすることにつながるのだと思います。余裕を持って、交通ルールを守り、あいさつをしながら明るく登下校すれば、何も問題ありません。

1・2年学力向上週間



10月に実施した3学年学力向上週間に続き、今週、1・2年生の希望者を対象に5教科の補充学習を行いました。

放課後の20分間という短い時間ではありますが、参加した生徒はとても熱心に問題を解いたり教師に質問をしたりしていました。生徒からは、「わからない所を質問できてよかった。」「みんな本気なので刺激になった。」といった感想が聞かれました。苦手教科の克服や家庭での学習習慣を確立する良い機会となることが期待できます。

2学年ボランティア活動



本校では、生徒の自主性や心の育成をねらいとした体験活動の一環として、各学年でボランティア活動を行っています。一昨日は2学年が側溝の泥上げと落ち葉拾いを行いました。冷たい風が吹く寒さの中、全員で力を合わせ、重い泥や大量の落ち葉を一所懸命に片づけてくれました。2年生の皆さんありがとうございました。

栄光の記録

福島県中学校新人ソフトボール大会準優勝!

11月7日、郡山市ふるさと森球戯場で開催された福島県中学校新人ソフトボール大会で、本校女子ソフトボール部が夏の大会に続き、県大会準優勝という快挙を成し遂げました。ソフト部の皆さんおめでとうございます!

【福島県中学校新人ソフトボール大会】 2位

小池さん、後藤さん、渡邊さん、伊藤さん、樽井さん、景山さん、桑原さん、川音さん、佐久間さん

【第62回郡山市発明工夫展】

○ 振興賞 (パ-カハガ-) 鈴木くん

【第21回バタフライ・ダブルスチームカップ】

○ 特好部3位 安司さん、奥平さん、上田さん、三浦さん

【第51回郡山市中学校生徒研究発表会】

○ 最優秀賞 板橋くん、齋藤くん、石田さん

【福島県バレーボール協会優秀選手賞】 大橋くん、熊倉くん

【第30回富久山町少年の主張コンクール】

○ 最優秀賞 村越くん ○ 優良賞 安司さん



鈴木君の発明
工夫展作品
パ-カハガ-

小中連携授業公開実施



昨日、授業公開を行いました。市内小中多くの先生方にご参観いただき、貴重なご意見、ご助言をいただきました。それらを今後の授業改善と学力向上に生かしていきたいと思っています。

【来週の行事予定】

22日(月) 木 12345

○ 3年実力テスト(国数英理社)

○ 集金予備日

23日(火) 勤労感謝の日

○ テスト前部活停止(～24日)

24日(水) 火56木6水456:B案

25日(木) 月12345避

○ 1・2年定期テスト(理社国数英)

○ 避難訓練(6校時)

26日(金) 金 1234木6:B案

27日(土)

○ 仁愛高校学校説明会

○ 石川バ スカット ボールフェスティバル～28



第30回 富久山町少年の主張コンクール



『生きているということ』

1年3組 村越 くん



『大切な時間』

2年3組 安司 さん

僕は最近、自分がこうしてここに生きているということにあらためて感動しました。こんなふうに言うと、何を今さらとか、あたり前のことじゃないかと言う人もいるかもしれませんが、しかし、今、僕はこの生きているということをもっと、もっと大切にしなければいけないと思っています。

去年から今年にかけて、僕の家近所の人や親せきの人たちの中で、多くの人が亡くなってしまいました。

その中でも、近所の一人暮らしのお年寄りが家の中で具合が悪くなり、熱中症で亡くなったことがとてもショックでした。

連日の猛暑で、新聞やテレビなどでは毎日のように熱中症が話題になっていました。特に死亡している半分以上の人が、一人暮らしの老人だと言うニュースを自分も見ていたのに、身近なこととして一度も考えることはありませんでした。

僕達は何かできる事がなかったのか？と、何度も考えさせられました。

近所の方は、今年の3月に突然引っ越してきました。毎日のように家に来て、「一人はさみしい。」と、言っていました。以前の話をよくしていましたが、何となく聞いていたような気がします。それに、毎日のように家に来られて、少し迷惑に思っていたかもしれません。暑い日が続く、家に顔を見せなくなりました。自分は気にすることもありませんでした。そして、その方は亡くなってしまったのです。その人が亡くなってから、考えてみると僕は自分が急に恵まれていたことに気づかされました。

普通に毎朝起きて祖父、祖母、母、父、姉といっしょに朝食をとり、夕方帰ってくると家に明かりがついていて、夕食をみんなで食べる。そんなあたり前の光景が、素晴らしい事なのだと感じました。

僕が具合が悪くなったり熱を出したりすると、母はとても心配して病院に連れて行ってくれる。部活で一勝でもするととても喜んでくれる。

そんな色々な事を考えると、僕は、「生きている」ではなくて、皆に「生かされている」ような気がしてきました。

人は一人では、生きていけない。ぼくも、たくさんの人に助けられて、支えられて生きてきました。これからは僕がだれかの支えになり助けてあげるような人になりたい。そして、これは自分だけでなく、周囲で生きている人すべてに大切な事なのです。地域に生きる人みんなが、生きている喜びを感じ、感謝し続けられるように、お互いにできることはないだろうかと思うようになりました。

では、具体的にどのようなことに取り組んでいけばよいでしょうか。

僕は、二つ考えました。一つ目は、「あいさつをすること」です。あいさつをすることで、近所の人との交流が深まり、助け合い、支え合って生きていくことができると思っています。二つ目は、「ごみ拾い」などのボランティア活動の取り組みです。簡単なボランティアなら誰でもできます。一人暮らしのお年寄りにも参加してもらえます。声を掛け合って定期的に活動することで、お互いの関わりも深まり、何かやりたい事を見つかる人もいかもしれません。ですが、これは簡単にできることではありません。だからみんなで協力して少しずつでも実行できたらいいなと思います。

生きていることに感謝し、みんなが生きていることに喜びを感じられるような社会になるために、自分は何をすべきか、これからも考えていきたいと思っています。そしてまず、今の自分をあたり前だと思わず、大切に生きていきたいと思っています。

みなさんは、何か打ち込んでいる事がありますか。しかし、打ち込み過ぎて周りが見えなくなったことはありませんか。

私は、中学生になり卓球部に入部しました。一年生の時とは違い、二年生に進級すると、自分達が部のみんなをまとめてはいけないという気持ちが先立ってしまい、つい一年生に、

「ちゃんと努力してよ。」

と、強く指導してしまう事が多くなりました。そして、思い通りにいかないと不満を周りにぶつけるようになりました。当然、楽しかったはずの部活動もぎくしゃくとした雰囲気になってしまい、一年生の口から、

「精神的につらい。」

「やつあたりしないでください。」

といった言葉を聞くようになりました。みんなの事を思って指導しているのに、なんでこんな風にならなくちゃいけないのだろうかといらだち悩みました。

そして私は、そんな不満をいつも胸にもってしまっていました。そのため、私は暗く長いトンネルから、なかなか抜け出す事ができませんでした。でも、そんなトンネルの中で私に光を見せてくれたのは、友達でした。

ある日のクラスの合唱練習です。その友達は、いつもクラスをまとめてくれる存在です。しかし、一部の男子の中には、ふざけて指示に従わない人がいました。一人ひとりが努力しなくては美しいハーモニーはできません。その子もきっと内心はそう思っていたと思います。しかし、その子は怒りを他人にぶつけることなく、自分が率先して歌っていました。その姿に、今までふざけていた男子もいつしか歌いだししました。その時私は、やっと、誰も自分の事しか考えていない、不満を他人にぶつける人に気付いていきたいなんて思うわけがないと気づかされました。私の指導は指導と言えないものだったのです。怒りをぶつける前に、言われる人の立場に立たなくてはならなかったのです。

「人は自分の鏡」と言います。不平、不満ばかりを口に出ると、周りにも、そんな人ばかりが集まります。私が笑顔で接すれば、私の周りにも笑顔が集まるでしょう。

私は、今まで自分を曲げることができませんでした。自分が正しいと信じていたからです。でも、それは、他の人の立場に立って、自分を見つめれば、ただ怒りをぶつけてくるように見えていたのです。

私たちは、多くの人と時間を共有しています。その時間をお互い気持ち良く、充実することができれば、次の良い時間へとつながっていくはずですよ。

私が、今、この時を満ち足りたものにするために、周りの人を大切に、笑顔をつぶさないことを心掛ければ、周りの人とも和やかな充実した時間を共有できます。

私は、人と関わる中で、人とぶつかり、悩みました。しかし、その事で、自分を見つめ直し、学ぶこともできたのです。

多くの人が、誰かと時間を共有しています。周りを見渡し、私が学んだ他の人の立場に立つこと、言葉より行動で示すことを実践できれば、もっと和やかな社会が築けるはずです。

私は、笑顔と思いやりを忘れず、大切な時間を他の人と未来へつないでいきたいです。

ホームページアンケートにご協力いただきありがとうございました。ご意見を生かし、行健中ホームページの内容の充実を図っていきたく思います。なお、ホームページに「ジャー・シユーズ購入希望書」をアップしました。ダウンロードして使用することもできますのでご活用ください。